

新Next 大阪・八尾の地域観光情報誌 Yaomania

TAKE FREE

【シン・ネクスト・ヤオマニア】2022年 秋号 Vol.45



今号の表紙：ベントモール八尾5番街 店主のみなさん

※撮影時のみマスクを外しております

もくじ

とびら | ベントモール八尾5番街クーポン 02~05 | 巻頭特集「ベントモール八尾5番街／近鉄八尾駅周辺」

06・07 | 八尾の情報館「映画のまち・やお」 08・09 | 八尾もの語「世界でふたつのフライパン物語」

10~13 | 八尾市文化会館情報ブリズム☆レポート「新生ブリズムホールわくわく調査隊」

14・15 | 八尾企業訪問「JA大阪中河内」 裏表紙 | 八尾市×藤井寺市「バスにのってこ！キャンペーン」連動プレゼント企画





高架下に広がる魅惑のグルメパラダイス！
ペントモール八尾 5番街 特集





ペントモール八尾 5番街 魅惑のクーポン

実施期間 2022年10月1日(土)~11月30日(水)

※クーポンの使用はおひとりさま1回限りです

※状況により営業時間や休業日が変更になる場合があります
※クーポンのご使用は店頭で本誌を提示してください

使ってお得!

お店からうれしい特典
が受けられるクーポン
を使って、5番街グルメ
をお得に楽しもう!

A

山形牛 肉のいい山

焼肉用のお肉
3,000円(税込)以上のお買い上げで

焼肉のたれ(税込360円)
1本サービス

※他のサービス券との併用不可

八尾市光町2-180 ペントモール5番街
【営】10:00~18:40
【休】火曜 ☎072-993-1180



醤油だれにヤンニョンジャンを
加えた、本格的な旨さと
まろやかな風味。

済

E

焼肉わっちよい 八尾本店

黒毛和牛A5ランク
のお肉を使用!

5,000円(税込)以上ご飲食の方に

黒毛和牛 わっちよい
プレミアムカレー
(テイクアウト用パック)
1つプレゼント



八尾市光町2-180-18 ペントモール5番街
【営】17:00~24:00(L.O.23:00)
【休】不定休 ☎072-924-2989

※カレールーのみ

※他のサービス券
との併用不可

済

B

お好み焼 鉄板焼 ぐー

店内はレトロな雰囲気!
配達もできます。

1,000円(税込)以上
ご飲食の方に

お会計から
10%OFF

※他のサービス券との併用不可

八尾市光町2-180 ペントモール5番街
【営】11:00~14:00/17:00~22:00(L.O.)
【休】火曜 ☎072-999-6511



※割引金額の十円以下
は切捨てです
※割引後の電子決済は
ご利用できません

済

F

炭焼きと鮮魚 よつば

店内でご飲食の方に

選べるおばんざい
一品プレゼント



八尾市光町2-180-15 ペントモール5番街
【営】平日17:00~24:00(土日祝 16:00~)
(料理L.O.23:30 ドリンクL.O.23:45)
【休】不定休 ☎072-998-0428

ちょい飲みにも、大人数の
宴会にも! 本格的な料理
と日本酒を、気軽に
楽しめるお店です。

済

C

Cucina ~紬~ クッチーナ つむぎ

おうちでもお楽しみください!

店内でご飲食の方に

紬オリジナル
ドリップコーヒーバッグ
1つプレゼント



八尾市光町2-180-17 ペントモール5番街D-17
【営】ランチ11:30~14:30(L.O.13:30)
ディナー17:30~22:00(L.O.21:00) ※月・木・金・土
【休】火曜・不定休 ☎072-975-6707

※他のサービス券
との併用不可

済

G

炉端焼き酒場 一心 八尾店

店内でご飲食の方に

1ドリンク
サービス

・生ビール・サワー
・ハイボール など

※他のサービス券との併用不可

八尾市光町2-180-1 ペントモール5番街
【営】17:00~24:00 【休】なし ☎072-924-7788



店内喫煙可。
完全個室5つあり!

済

D

旨い魚と酒の店 ~えん~

日本全国の旬菜・旬魚!

お一人様5,000円(税込)以上ご飲食の方に ※他のサービス券との併用不可

1ドリンク
サービス

・生ビール・角ハイボール
・チューハイ・麦・芋焼酎
・ソフトドリンク



八尾市光町2-180 ペントモール5番街 16号
【営】17:00~22:00 【休】火曜 ☎072-990-6655

済

H

けとばし屋 チャンピオン

お座敷あり!
お子様連れも歓迎!

店内でご飲食の方に

最初の1ドリンク
サービス

・生ビール(中)・ハイボール
・チューハイ・ソフトドリンク
(1グループ4人様まで)



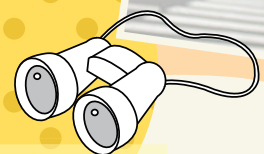
八尾市光町2-180 ペントモール5番街 16号
【営】平日17:00~24:00(L.O.23:00) ※土日祝16:00~
【休】月曜(祝日の場合は翌日) ☎072-968-8539

済

りあちゃんと行く！

行ってきまーす！

5番街グルメ探検ツアー



近鉄の高架下を中心に広がる商店街「ペントモール八尾」。さまざまなお店が軒を連ねる中で、飲食店が充実しているのが5番街。今回はペントモールの管理会社で働く、りあちゃんと一緒に、個性派ぞろいの飲食店を巡ってみました！

START

近鉄八尾駅東の交差点を東側に渡ったところが、ペントモール八尾5番街！



注文が入ってからカットして、切り立てを提供。



A

山形牛 肉のいい山

甘味が濃厚で旨味が強い山形牛を扱う精肉店。切り置きはせず、その場で好みの厚さにカットしてくれます。品質への信頼が高く、「お肉はここで」と長年通う常連さんも多数。お店で毎朝さばく鶏肉も人気が高く、売り切れ必至！店頭で揚げるコロッケ（なんと60円!!）も絶品です。



B お好み焼 鉄板焼

「ペントモール八尾」開業当時から約40年続くお店。鉄板カウンターでアツアツがいただけます。お好み焼きはふわっと、焼きそばは太麺のもちもち感が絶妙。トマトの甘味と酸味がソースとマッチする豚トマト玉、自家製の柚子胡椒をのせた焼きそばなど、オリジナルメニューも多彩。オーナーさんセレクトのレアな焼酎も揃っているの、焼酎好きの方もぜひ。



コテでいただく、昔ながらの大阪スタイル！



C

Cucina ~紬~

「お魚でさっぱりとイタリアンを楽しんで欲しい」とシェフの天池さん。新鮮な魚介類と旬の果物や野菜をふんだんに使い、華やかな一皿に仕上げます。昼は3種類のコース、夜は魚介類メインのアラカルト。店内は明るく落ち着いた雰囲気、女性一人のお客様も多くいらっしゃるの、ワイン片手に、至福のひとつきが過ごせます。



店主の岡田さんはミナミの和食店から独立。



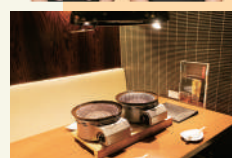
F

炭焼きと鮮魚 よつば

木目を基調にした心地いい空間で、新鮮な魚介と炭火焼き鶏・焼き豚、お店で仕込む旬のおばんざいが味わえます。魚介にはこだわりがあり、まぐろの希少部位「天身」や、オーナー自ら釣った魚が並ぶことも。日本酒の仕入れにも力を入れ、選りすぐりの地酒を錫の酒器で提供。まろやかな口当たりの錫で味わう日本酒は、格別の美味しさです。



食器は、窯元に別注した丹波焼。料理をいっそう引き立てます。



店内は洗練されたおしゃれな空間。

E

焼肉わっちよい 八尾本店

黒毛和牛のA5ランクを塊で仕入れ、肉の状態を見極め店内で手切り。野菜や米など食材は国産のみ、タレや味噌も手作りこだわりを徹底しています。ドリンクは、氷の代わりに冷凍果実を入れた「ゴロゴロ酎ハイ」がイチオシ！「美味しいお肉はもちろん、価格以上の満足感をご提供したい」という店長さん始め、スタッフさんの元気な接客も魅力です。

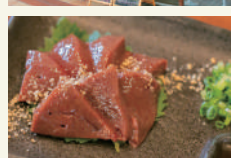
まだまだ行くよー



H

けとばし屋 チャンピオン

本場・熊本から直送される馬肉は鮮度抜群！生レバーなどの生ものから焼肉、一品料理まで、馬肉のおいしさをとことん味わえます。馬肉が初めての方は、その日のおすすめ部位が入った馬刺し盛り、焼肉盛り合わせからどうぞ。低脂質で高たんぱく、お腹にもたれにくい馬肉は、カロリーが気になる方やトレーニング中の方にもぴったりです。



ガラス張りの明るく開放的な店内。



G

炉端焼き酒場 一心 八尾店

目の前で調理が見られる、囲炉裏端のカウンターが特等席。中でも、藁の炎で豪快に焼き上げる藁焼きは迫力満点！外は藁の香りと焼き目で香ばしく、中はレアに仕上がった藁焼きカツオは必食です。ほかにも、炭火で旨みを引き出すとろ鯖など、新鮮な魚介の料理がずらり。こだわりの逸品と、全国各地から仕入れる厳選の日本酒を心ゆくまで楽しめます。



注文ごとに焼き上げる、名物の藁焼き。

GOAL

今回ご紹介した8店舗で使えるお得なクーポンも、ぜひチェック！そして、ペントモール八尾5番街には他にもおいしいお店がたくさんあるので、皆さんぜひ足を運んでみてくださいね！



※写真はすべて撮影時のみマスクを外しております



近鉄八尾駅周辺は、 市内屈指の商業エリア！



近鉄八尾駅の周辺は、八尾市内随一の商業地。ショッピングモールや商店街が集まり、お買い物もグルメも、近鉄八尾駅周辺に行けばお店は選び放題です。なんなら、ミナミやキタにまでわざわざ出かけずとも、この周辺で事足りてしまうほどの充実ぶり。これだけ商業施設が駅前に揃っているのも、八尾市の魅力のひとつです。



こんなにいろいろ！ 近鉄八尾駅周辺のお買い物スポット



近鉄八尾駅前のランドマーク的存在のリノアスは、西武八尾店の跡地をリニューアルして2017年にオープンしました。ファストファッションやインテリア、大型書店など、感度の高い専門店のラインナップが魅力です。就労支援を行う「八尾市ワークセンター」や、八尾のモノづくりの技術を体感できる「みせるばやお」など、公共的な施設も入居しています。リノアスとペDESTリアンデッキで繋

がっているアリオ八尾は、延床面積約4万1000㎡を誇る巨大モール。コクヨ八尾工場の跡地に、関西地区で最初のアリオとして2006年に誕生しました。12スクリーンの映画館やコミュニティFMのラジオ局、イベントスペースも備えています。駅周辺には、北本町中央通商店会、近鉄八尾北商店街、ペントモール八尾、ファミリーロードなど商店街も多数。商業施設や商店街が連携したお買い物イベントなども行われています。



近鉄の高架下に広がる

「ペントモール八尾」をチェック！！



近鉄八尾駅周辺が商業地として発展したきっかけのひとつが、昭和53年(1978年)の近鉄八尾駅の高架化。近鉄大阪線の高架工事に関わる周辺整備が行われ、近鉄八尾駅の駅舎が約300m南東に移転しました。それに伴い、近鉄八尾駅高架下の周辺地域における商業集積地の活性化を目的として、また、主に近鉄大阪線高架下及び旧駅跡地の店舗並びに関連用地の管理や運営経営などに関する業務を行うことを目的として、昭和49年(1974年)8月に「八尾モール

株式会社」が設立されました。そして、新駅開業と時を同じくして、旧駅との間の高架下には、「ペントモール八尾」の名称で商店街が営業を開始します。昭和56年(1981年)には、関西では高槻に次いで2店舗目となる西武百貨店が開業。当時はまだ田畑の残るのどかな土地だった八尾に、東京の西武百貨店ができたというニュースは世間を沸かせました。それから約40年を経た現在も、近鉄八尾駅周辺は市内の中心的な商業地として、賑わいを見せています。



ペントモール八尾 1番街



- 1 サンディ八尾モール店
- 2 餃子専門店小洞天
- 3 アップルプラス薬局



ペントモール八尾 2番街



- 4 くねあ保育園
- 5 河内小判
- 6 jardin北川
- 7 サカイ レディスショップ
- 8 株式会社寿ハウジング
- 9 アルベロコレクション ラベ

ペントモール八尾 3番街



- 10 フレッシュ八百屋 vegevege
- 11 エフワン 八尾
- 12 カステルバジャック 美晃堂
- 13 ギャラリーアイ 八尾店
- 14 勝男 近鉄八尾応援団
- 15 まごころリフォーム
- 16 メイプル薬局
- 17 たなかや
- 18 天ぷらスタンド 北吉
- 19 靴修理 合鍵 クック
- 20 髭鯨
- 21 北本町整骨院
- 22 うどん酒場 麦だるま
- 23 時計 メガネ 宝石 MASAKI
- 24 花スタジオ 山本
- 25 炭火焼とり えんや 赤獅子店
- 26 居酒屋じんべい

ペントプラザ(夢の小路)



- 27 カルディーズクラブコーヒー
- 28 ミスタードーナツ
※10月1日リニューアルオープン予定
- 29 占いサロン愛乃
- 30 シーキューブ夢ハウス
- 31 八光殿 ご相談サロン
- 32 かもじや本店(一時閉店中)
- 33 さんきゅう水産
- 34 CoCo壱番屋
- 35 八尾カメラ店
- 36 ハーベス近鉄八尾店
- 37 ケンタッキー 近鉄八尾店
- 38 美粧館
- 39 理髪館
- 40 ローソン近鉄八尾駅店

ペントモール八尾 5番街



- 41 吉野家(耐震工事のため休業中)
- 42 炉端焼き酒場 一心 八尾店
- 43 旨い魚と酒の店 ~えん~
- 44 らーめん四恩
- 45 BAR Amrita(アムリタ)
- 46 炭火焼とり えんや 青獅子店
- 47 大衆酒場 がちや
- 48 お好み焼 鉄板焼 ぐー
- 49 山形牛 肉のいい山
- 50 新竹
- 51 炭焼きと鮮魚 よつば
- 52 けとばし屋チャンピオン
- 53 Cucina ~紬~
- 54 焼肉 わっちよい 八尾本店

駅近で便利！
いろんなお店があるから、
ゆっくりお買い物を
楽しんでくださいね！



映画のまち・やお

八尾市フィルムコミッション×やお80”映画祭で、
いま八尾は映画がアツい！

八尾市が「映画のまち」として認知されつつあるのをご存知ですか？「八尾市フィルムコミッション」の誘致活動によって市内各所で映画やドラマのロケが続々と行われており、さらに11月にはご当地映画祭として注目を集める第7回「やお80”（ハチゼロ）映画祭」が八尾市との共催で開催される予定です。そこで今回は、八尾で盛り上がる映画の話題を取材しました！

発足一年で実績ぞくぞく！！

ロケを誘致する

「八尾市フィルムコミッション」がすごい！

「映画」をキーワードに八尾の魅力を発信すること、八尾市民のつながりを深めること、この2つを大きな目標として発足した「八尾市フィルムコミッション」。昨年10月23日のキックオフイベントを皮切りに、本格的に活動をスタートさせました。

中でも力を入れているのが、映画やドラマなどの撮影誘致。発足からわずか一年足らずで、さまざまな作品が八尾で撮影されています。誘致活動の窓口を担当する八尾市 魅力創造部 観光・文化財課 富山彰さんは、「今後も八尾市内でのロケが行われる予定があり、『映画のまち・やお』の実現に向けて、着実に進んでいます」と成果を実感しています。

これまで撮影された中には、市民ボランティアの皆さんがエキストラとして出演した作品もあるとのこと。「八尾市フィルムコミッション」ではまだまだ「映画のまち・やお」を目指す活動と一緒に盛り上げてくれるボランティアを募集中。興味のある方はぜひ、公式ホームページをチェックしてみてください。

また今年の「やお80”映画祭」は、八尾市との共催で開催されます。フィルムコミッションと映画祭がタッグを組むことで、例年以上の盛り上がりが期待できそうです！



八尾市フィルムコミッションの
◀◀◀ 詳細はこちらから



今年の「やお80”映画祭」は、
八尾市との共催！

やお80”映画祭2022

開催日：令和4年11月26日（土）

場所：アリオ八尾・MOVIX八尾

主催：やお80映画祭2022実行委員会

共催：アリオ八尾・八尾市



これまでに行われたロケの一部をご紹介します！



NHK総合「逆転人生」
ロケ地：八尾市内高校 グラウンド



八尾魅力発信CM
ロケ地：顕証寺など



MBS「サタデープラス」
ロケ地：山本球場



つんくみ中2プロジェクト 映画「懐胎新書」
ロケ地：旧北高安小学校



映画「ともる」
ロケ地：山本コミュニティセンターなど
オール八尾ロケ



映画「いばらみち〜チケット転売詐欺事件」
ロケ地：旧北高安小学校など

映画作品募集中！

プロ・アマ問わず80秒の映画作品を広く募集しています。入選作品は映画祭当日、MOVIX八尾で上映、各部門のグランプリを決定します。

応募締切：令和4年10月31日（月）消印有効

応募方法などの詳細は、公式ホームページをご覧ください。

詳細は
こちらから！



映画を通じて、
もっと八尾を発信したい！

今辻貴詩さんが 「やお80”映画祭」に 込めた想い

「生まれ育った八尾の魅力を、映画を通じて伝えたい」と、2016年に「やお80”映画祭」を立ち上げた今辻貴詩さん。80秒という時間に込めた想いや、八尾市との共催になる第7回に向けた意気込みなどをお聞きました。



制約があるからこそ面白い、「80秒」の可能性

— 八尾の魅力を伝えるときに、なぜ映画だったのでしょうか？

八尾は河内音頭や高安能など古くから芸能も盛んですし、映画監督や俳優さんの出身地でもあるので、映画を通じて盛り上げられたらいいなと。それと、大阪に市町村規模の映画祭がなかったので、やってみたら面白いんじゃないかなと考えました。

— 「やお80”映画祭」には＜上映時間がジャスト80秒であること＞という設定がありますが、これは今辻さんの発案ですか？

放送作家さんやイベント関係の方に相談するなかで、「八尾やから8と0で80秒でいこう！」という話になり、単純ですが80秒の制限を設けました。当初は「80秒で映画と言えるのか」と言われたりもしましたが、そこはこだわりを持ってやっていこうと。正直不安な部分もありましたが、ストーリー仕立ての30秒のテレビCMでも伝わるものはありますし、尺の長いウェブCMみたいな感じで応募してもらえかなと思いました。

— 実際のご応募は、どんな感じだったんですか？

第1回は100本以上のご応募があったのですが、そのうち3割ぐらいがご家族を撮影したホームビデオでした（笑）。でも1回目の受賞作品をYouTubeなどで公開するようになってからは、物語性のある作品を応募していただけるようになって、回を重ねるごとにクオリティも高くなっています。

— 80秒という条件があるからこそ、面白いものが生まれる部分もあるかもしれませんね。

そうですね。同じ80秒でも、もっと見たいと思うものもあれば、長く感じるものもあります。80秒の印象が作品によって全然違うので、そこは本当に面白いですね。

— 入選作品がMOVIX八尾で上映されるのも、「やお80”映画祭」ならではですね。

実は全国の映画祭でも、実際の映画館で上映しているケースはあまりないんです。その点でも、MOVIX八尾での上映は出品者の方にとってすごいモチベーションになっているのを感じます。「トップガン」と同じスクリーンで自分の作品が上映されるので、それはうれしいですね。

— これまでの受賞作品の中で、印象に残っているものはありますか？

たくさんありますが、やはり第1回の「やお映画部門」のグランプリ作品ですね。1回目にこんな素晴らしい作品を送ってくださってありがとうございます！という気持ちです。

グランプリを受賞された方とはその後、一緒に映像のお仕事もさせてもらいました。

— 過去の受賞者の方が、映画や映像の世界で活躍しておられるんですね。

グランプリを機に映画監督を目指して上京された方や、審査員をしていただいた『カメラを止めるな!』の上田慎一郎監督の作品に携わっておられる方もいらっしゃいます。この映画祭をきっかけにご縁が広がっているのは、僕もうれしいです。

まだ誰も撮っていない八尾の姿を、ぜひ作品に

— 11月にはいよいよ第7回が開催されますね。10月31日まで作品を募集中ですが、どのような作品を期待されますか？

八尾の方に、自分のまちの魅力を映画にしてもらえたらうれしいですね。近所の神社とか毎日自転車で通る道とか、まだ誰も撮っていない八尾の素敵な風景を見せられるのは、地元の方ならではだと思うので。住んでいる人の目線で撮った作品を、ぜひ「八尾映画部門」にご応募いただきたいですね。

— 今辻さんも八尾にお住まいですが、ご自身で撮られるご予定は？

僕はもう、皆さんの作品を楽しむにですから（笑）。見慣れた風景も映像や音楽の力で全く違うものに見えるので、「ここをこう撮るか!」とか「八尾にこんなところあるんや!」みたいな、住んでいる僕も知らない発見や驚きを、映画でたくさん見せてもらえたらと期待しています。

— これまでの映画祭を通じて、八尾の魅力は伝わったと感じておられますか？

作品は全国からご応募がありますし、授賞式で八尾に来ていただく機会もあるので、八尾のことを知っていただくきっかけにはなっているのかなと思います。でもこれまで以上に八尾の魅力をもっと発信できるように、八尾全体で盛り上がってほしいですね。

— 今回は、八尾市との共催による開催ですね。

ずっと八尾で映画祭を続けてきたので、一緒に何かできるのはありがたいですね。第1回からいろいろサポートはしていただいていますが、「八尾市フィルムコミッション」ができたことで、より八尾が「映画のまち」として盛り上がることを期待しています。

— 今回の映画祭も、たくさんの素晴らしい作品に出会えることを楽しみにしています。

撮影の日数やコストの負担も抑えやすく、スマートフォンで撮っても応募できるので、ぜひ興味のある方はトライしていただきたいですね。映画祭は作品のご応募がないと成り立たないので、皆さまからのたくさんのご応募をお待ちしています！





世界でふたつの フライパン物語

モノづくりの現場が
体験できる特別プログラム！

多くのモノづくり企業があり、「モノづくりのまち」として知られる八尾市。『八尾もの語～世界でふたつ～』企画は、普段はなかなか見ることのできないモノづくりの現場を訪ね、その熱意や技術を体感できるプログラムです。今回は、八尾市のふるさと納税でも人気の鉄フライパンを製造する藤田金属株式会社を訪問。親子で“世界でふたつ”のオリジナルフライパンづくりを体験していただきました。



ここで体験しました！



藤田金属株式会社

フライパンをはじめ、鍋やヤカン、コップなどの金属製品を数多く製造。自社で金型を製造しており、一貫生産で完成品まで対応。自社ブランドのほか、近畿大学やアパレルメーカーとのコラボも多数。



八尾市西弓削3-8
TEL:072-949-3221
FAX:072-948-3635



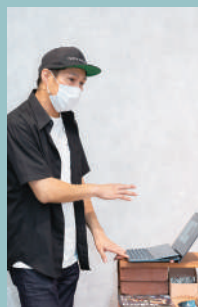
レクチャー



カフェみたいにおしゃれ！

〈ふらっぱんヴィレッジ〉は、

まずは藤田金属の歴史や、モノづくりへの想いを知るところから。熱い社長の言葉に、子どもたちも真剣に聞き入っていました。会場の〈ふらっぱんヴィレッジ〉は直営ショップとして、基本的に平日9～17時まで営業。



オーダー



どんなフライパンを作ろうか、資料やサンプルを見ながら親子で相談タイム。塗装は5色、持ち手は4種類、文字は最大15文字×2行(30文字)まで入るから、他にはないオリジナルなフライパンが完成します。



オーダーが決まったら用紙に記入。あとは完成を待つのみ！

色は？素材は？文字は？
親子で悩む時間も楽しい！

工場見学

モノづくりの現場を体験！

音、におい、温度……五感で



普段は入れない工場も特別に見学。職人さんの仕事を間近で見せてもらいました！



完成！



親子でふたつの特別なフライパン。

今日の思い出も刻まれた、

完成品を手にみんな笑顔！「将来一人暮らしする時にも持たせませう」というお母さまも。



赤字から大ヒットへ！ ドラマチックな藤田金属の歴史。

今回フライパンづくりを体験されるのは、親子ペア5組さま。八尾市の方はもちろん、市外からもご参加がありました。

プログラムはまず、藤田金属株式会社のファクトリー＆ショップ〈ふらっぱんヴィレッジ〉で、社長の藤田盛一郎さんのお話を伺うところから始まりました。

藤田金属株式会社の創業は1951年。『これまでの暮らしを豊かにする金属』をスローガンに掲げ、「重苦しいイメージのある鉄を、軽い、やさしい、便利な金属という形にして、いろいろなお客さまに使っていただきたいと思っています」と藤田社長は語ります。鉄フライパン製造を始めた約10年前は赤字続きの厳しい状況でしたが、側面を伸ばして軽量化する「へら絞り」や、サビやこげつきを防ぐ「ハードテンパー加工」など、高い技術力を生かして使いやすい鉄フライパンを製造。サイズや材質などをカスタマイズできる自社企画〈フライパン物語〉もスタートさせます。また、外部のデザイナーと共に開発した〈フライパン・ジュウ〉も大ヒット。売り方やデザインにこだわったことで、2010年は4,733個だった鉄フライパンの販売数は、2021年に180,218個まで増加します。

現在はキッチン用品だけでなく、LEDライトや園芸用品の製造にも着手。金属加工の高度な技術を、さまざまなアイテムに展開しています。「従業員19名の町工場ですが、世界に発信できる、100年企業にしていきたいと思っています」と未来への展望を宣言されました。

“世界でふたつ”をオーダーし、 製造現場を間近で見学！

さて、ここからいよいよフライパンづくりの時間です。今回は1040通りの組み合わせが選べる〈フライパン物語〉から、親子で“世界でふたつ”のフライパンをオーダーします。サイズは大人の方は26cm、お子さまは20cm。そこから材質、外面カラー塗装、持ち手の素材、刻印する文字などを選んでいきます。皆さま親子で肩を寄せ合って、「何色にする？」「なんて文字を入れようか」とあれこれ思案。鉄製とステンレス製の違いや、刻印がきれいに入る持ち手の素材など藤田社長のアドバイスを聞きながら、仲良く相談しておられました。

オーダーを終えた後は、フライパンができるまで工場見学へ。〈ふらっぱんヴィレッジ〉のバルコニーからは工場の様子が一望でき、主要な機械の動きが間近で見られるモニターも設置されていますが、今回は特別に工場の中までご案内いただきました。

四角い鉄の板からフライパンの丸い形を抜くプレス機や、丸く抜いた板を金型に押し付けて成型するへら絞り、約700℃の高温で焼きを入れるハードテンパー加工など、どの工程も迫力満点！しかも、すべて職人さんが付きっきりで1点ずつ手作業で作られています。「プレス加工なら機械まかせで何千個もできますが、へら絞りは1日500～600個しかできません。でも、少しでも軽くなるように、この加工方法にしています」と藤田社長。量産や効率よりも、ユーザーの使いやすさを優先されており、実際へら絞りで仕上げることで約20%軽量化できるそうです。

初めて間近で見る工場の様子に、子どもたちの表情も真剣そのも

の。鉄を抜くときの「ガッシャン！」という大きな音や、ゴーゴーと燃える炎にびびりしながら、完成までの工程を一生懸命見つめていました。

マイフライパンで何を作る？ 子どもたちもみんなわくわく！

見学の後は、藤田社長からお手入れ方法のレクチャー。くつつかずに上手に調理するポイントは「油をひいて、必ず予熱をすること」。少し煙が上がるぐらいが目安だそうです。使用後はお湯や水で流してたわしでこすり、水分をしっかりと蒸発させればOK。最初のうちは使用後、油を軽くなじませておくとうれいそうです。

「鉄のフライパンは、ずっと長く使えます。以前、40年使って穴が開いたから買い替えに来たというお客さまもおられました」と藤田社長。さらに、フッ素コートでフライパンと併用することで、どちらも便利に長く使うことができると提案されました。使い捨てずに使い続けること、それはSDGsの目標のひとつ「つくる責任・つかう責任」にもつながります。

そうこうするうち、早くも完成したフライパンが到着！待ちきれない様子で箱を開けた子どもたちから、うれしそうな笑顔がこぼれます。父子で参加された木村さまは、それぞれの名前を持ち手に刻印。「フッ素コートを使っていたんですが、鉄のフライパンに憧れがあって参加しました」というお父さまは、お子さまがこれを機に料理に興味を持ってくれたら…と期待を寄せます。

「技術を持っているところがせつかく近くにあるので、いろいろな体験をさせてあげたいし、本物を見せてあげたいと思って」と参加された野

口さま。完成したフライパンを手にお子さまは「自分のフライパンでウインナーを焼きたい！」と笑顔で話してくれました。

母娘で参加された尾上さまは、お子さまがお料理に興味があり、親子で料理教室に行かれたことも。今日は参加できなかった妹さんの名前を、持ち手に刻印されていました。お子さまは、マイフライパンでオムライスを作るそうです。

「藤田金属さんをテレビで見て、八尾にこんなおしゃれな会社があるんだなと思って。気になって見学に行こうと思っていた時に、このイベントを知ったんです」というSさま。お子さまは自分の名前を、お母さまはお子さまとペットのワンちゃんの名前をイニシャルで入れられました。

もう一組の参加者さまも、お子さまが「ハムエッグを焼いてみたい」と楽しそうに話してくださいました。

モノづくりの現場を知ることが、 モノを長く大切に使うきっかけに。

世界でふたつの特別なフライパンを手に、皆さまのうれしそうな笑顔が印象的だった今回のイベント。モノづくりに込めた想いに触れ、職人さんがひとつずつ作る工程を見たことで、より大切に使用いただけるのではないのでしょうか。

「八尾もの語」ではこれからも、八尾のモノづくりの現場を体感していただくことで、ひとつの製品ができるまでに多くの人の手や想いが関わっていること、そうやって丁寧に作られたものを長く使い続けること、その大切さを感じていただけるプログラムを展開していきます。

八尾児童合唱団のメンバーが潜入♪ 新生プリズムホール わくわく調査隊

長いリニューアル期間を経て、8月2日にグランドオープンした「八尾市文化会館プリズムホール」。これまで以上に気軽に立ち寄れるようになったと話題のプリズムホールに、オープニングイベントで美しい歌声を披露してくれた「八尾児童合唱団」のメンバーが潜入してくれました。ステージに立つことも多いメンバーたちが館内あちこちを調査して、見えるところから見えないところまで、たっぷりご紹介します！

1F

プリズムホールの顔となる1階は、5階までの高い吹き抜けが特徴。フロアには「光のプラザ」、カフェレストラン「ターコイズブルー」、展示などに使えるオープンコーナーがあります。

光のプラザ

プリズムホールに入って最初に迎えてくれるのは、光がたっぷり入るエントランスロビー「光のプラザ」。吹き抜けの明るく開放的な空間で、イベント時にはコンサートやパフォーマンスの会場になることもあります。ソファやベンチなどもあり、公演前の待ち合わせや休憩にもぴったり。見た目の印象は大きく変わりませんが、天井が耐震補強されていたり、大ホールに続く階段の真ん中に手すりがついたり、しっかり改修が行われています。



リニューアルオープニングイベントで「八尾児童合唱団 & 卒団生ハミールコンサート」が行われたのもこの場所！吹き抜けに、ミュージカルメドレーなど美しい歌声が響きました。

声がよく響いて、歌いやすかったです！



亀山 結衣さん (小学4年生) 木本 侑鶴くん (年中) 松井 那奈さん (団長/高校2年生)

八尾児童合唱団

1978年に結成された、八尾市で活動する児童合唱団。幼児から高校生までのメンバーが日々楽しくレッスンに励んでいます。今回は団長を務める那奈さんをリーダーに、在籍8年の結衣さん、歌うことが大好きな侑鶴くんの3名がレポートしてくれます！
▶合唱団の最新情報は、公式Instagramでチェック



オープンコーナー

総合受付のあった場所は、休憩などに自由に使えるオープンコーナーにリニューアル。絵画や写真などが展示

できるピクチャーレールもあり、取材当日は、筆手紙道協会による『SDGs筆手紙』の展示が行われていました。音楽系の催しも可能なので、気軽にアートや音楽に触れられる場として、また表現活動の場として、いろいろな可能性が広がるスペースになっています。



PROFILE

筆手紙道協会 家元 浦川 良子さん

筆文字や色彩で思いを伝える巻き手紙のお稽古主宰。NHKなどメディアにも多数出演し「手書きの文化」普及に努める。店舗ディスプレイ、看板、パッケージデザインなど多岐にわたる活躍中。



『SDGs筆手紙』では、「家族への想い」を手書きで綴る筆手紙を展示。使わなくなったコスメを再利用して彩りを添えた美しい作品に、3人も真剣に見入っていました。

2F

1階「光のプラザ」から続く階段を上ったところが、大ホールの入口。今回のリニューアルで新たに情報・交流コーナー「やおうえるかむガーデン」や「ベビールーム」が誕生し、より充実しています。



居心地よく洗練された内装を手掛けたのは、八尾市内にある株式会社友安製作所。

ベビールーム

八尾市在住の童画家・徳治昭さんのかわいい壁画が一面に描かれたベビールーム。明るく清潔な空間に、3室の授乳室、3台のおむつ替えシート(うち1台は立ったまま替えられるタイプ)、調乳用のお湯が出る給湯器まで完備されています。これなら、小さなお子さまと一緒に来館しても安心。おむつ替えシートは、多目的トイレにも設置されています。



カフェみたいにおしゃれな空間！





ホール

大ホール・小ホールとも、舞台床や設備関係を更新!より良い音の表現や、多彩な演出が可能になっています。

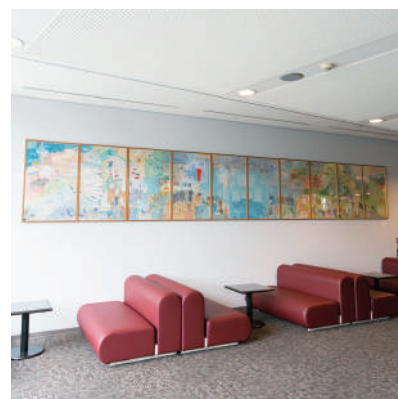
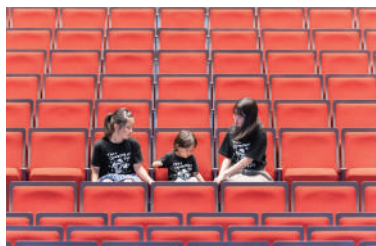
大ホール

オーケストラなどの大規模コンサートにも対応できる、1・2階合わせて1,317席の大ホール。舞台床は1枚ずつ手作業で張り替えられ、最新の照明や音響システムも導入されています。舞台機構のモーターやワイヤーを一新するなど、安全に関わる部分も改修が行われました。1階の客席は座席をすべて入れ替え、それぞれゆとりのある座り心地に。ステージに立つ人にも観る人にもうれしい、より快適で現代的なホールに生まれ変わりました。

きれいに
なったよー!



8月の「八尾児童合唱団 卒団生合同練習会」などで大ホールのステージを経験している3人も、「照明がおしゃれ!」「椅子がふかふか」と、ご機嫌にあちこち探索していました。



大ホールの1階席ホワイエに展示されているラウル・デュフィの「電気」の精(縮小版連作版画)は、今回のリニューアルにあわせ設置されたもの。

3F

大ホールの2階席と、展示室のあるフロア。展示室は音響機器が導入され、音を使うイベントにも使用できるようになりました。

3階には吹き抜けの上を渡るブリッジがあり、「光のプラザ」が一望できます。



4F

3つの会議室と、研修室のあるフロア。絨毯の更新や照明のLED化のほか、LANコンセントの設置によりオンライン会議などにも利用できます。

三角の形をした「トライアングルロビー」には、ソファや自動販売機を設置。



5F

最上階の5階は、レセプションホール、お茶のお稽古などに使える和室、ドラムセットやピアノを設置した練習室などがあります。

レセプションホール

パーティーや演奏会に使われる空間も、美しくリニューアル。床の絨毯や壁紙が新しくなり、LED照明で繊細なあかりの演出も可能になりました。大・小ホールと同様に二重扉にしたことで、音漏れ防止も強化されています。



取材当日は「フレンドリーコンサート」のリハーサル中。しばし素敵な演奏に聞き惚れました。



お待ちかね!

お腹が空いたら、カフェレストラン ターコイズブルーへ!

館内をたっぷり調査したメンバーは、1階に新しく誕生したカフェレストラン『TURQUOISE BLUE(ターコイズブルー)』へ! 話題のお店で、ぺこぺこのお腹を満たします。合唱団OGさんやお母さまも加わって、みんなでいろいろなメニューを頼んでみました!

那奈さんのお母さまで八尾児童合唱団 指導・ピアニストの松井里美さん(右)、侑鶴くんのお母さまの木本亜季さん(右から2人目)、八尾児童合唱団卒団生を中心としたメンバーによる合唱団「ハミール」統括の西川まゆみさん(左から2人目)も一緒に、みんなでぎやかにランチタイム!



結衣さんのメニューは、地元野菜を使った「八尾野菜のナポリタン(990円)」。鉄板のアツアツがうれしい!



侑鶴くんは、オムライス×カレーの「プリズムライス(1,100円)」を大きなお口でぱく!



那奈さんはプレートランチから、唐揚げにタレとタルタルソースが付いた「チキン南蛮風(1,050円)」をチョイス。



CURRY

カレーセットも「プレミアムカツカレー(1,250円)」など6種類。こちらもスープ+サラダ付き!



PLATE

スープ+サラダがセットになったプレートランチは、「油淋鶏(1,050円)」「デミグラスハンバーグ(1,050円)」など6種類!



SPECIAL

スペシャルセットには、プリズムライス、八尾野菜のナポリタンのほか、「ローストビーフ丼(1,100円)」も。こちらもちろん、スープ+サラダ付き。

いっぱい見学して、お腹もいっぱい!
今日は楽しかった~!



ターコイズブルー カフェレストラン TURQUOISE BLUE

モーニングからランチ&カフェ、ディナーまで一日中楽しめるお店。ドリンクやスイーツが豊富で、ソフトクリーム等はテイクアウトもできます。ビールやワインも揃っており、バル使いもOK。



営業時間 9:00~22:00 月曜日定休(祝日の場合は翌平日) TEL 072-923-5026

八尾市文化会館 プリズムホール

八尾市光町2-40 営業時間 9:00~22:00 月曜日休館(祝日の場合は翌平日) TEL 072-924-5111

公式HPはこちら





農業を核に、幅広く地域社会に貢献。

「あって良かった！」と

思ってもらえるJAに。

八尾の名産品といえば、八尾枝豆や八尾若ごぼう。これらの農業を支えているのが、八尾市に本店を構えるJA大阪中河内です。地域社会への貢献を理念に掲げ、農業だけでなく地域社会全般の発展に寄与することを目指すJA大阪中河内の取り組みについて、野田哲男さん、中澤義樹さんにお話を伺いました。



高齢化等で減少しつつある農業人口。

農業と農地を守るため、さまざまな施策を展開。

八尾市・柏原市・松原市・東大阪市の4市と、大阪市東住吉区、平野区を事業区域とするJA大阪中河内。その中で八尾市は、四季を通じて特産物があるのが特徴だと中澤さんはおっしゃいます。「春は花桃や啓翁桜(ケイオウザクラ)、夏は枝豆、秋はコスモス、冬は若ごぼうなど、春夏秋冬を通じて特産品があるのは、八尾ならではですね」。八尾は土壌が良く、昼夜の寒暖の差も大きいので、甘みのあるおいしい野菜がよく育つそうです。

八尾は大都市近接の立地条件を生かした近郊農業が盛んな土地で、古くからの農家さんもたくさんあります。しかし、全国的に問題になっているように、高齢化などにより農業人口は減少していると言います。そのためJA大阪中河内では、耕作放棄地を解消するため、農地の貸し手と借り手のマッチングを実施。農業を続けられなくなった方の農地を、新規で農業を始める方や、農地を増やしたい方に紹介する事業を2017年から行っています。これまで約110件のマッチングが成立、広さにとすると12万6270㎡の土地が農地として活用されているそうです。

また、高齢や病気などによって農業の継続が難しくなった農家の方に対し、田植えや稲刈りなどの農作業を請け負う事業も実施。たとえ自分ができなくなっても、農地を守りたいという気持ちが農家さんにはあると野田さんはおっしゃいます。「あの年はこんなことで苦労したとか、あの年はすごく豊作だったとか、農地には皆さんいろいろな思い出があるんですね。だから、手放すのではなく、農地として残したいと考えておられます。その想いをかなえるお手伝いをするのが、私たちの役目です」。このお話からも、JA大阪中河内が農業を守るという事業を通じて、地域の方の声に耳を傾け、思いに寄り添っておられることが伺えます。

「JAさんて、農家の方しか利用できないと思っていました」という誤解。

農業協同組合という名前からJA=農業という印象がありますが、信用事業や共済事業など、農家の方だけでなく地域住民の方も利用できる事業を数多く行っています。実は組合員の割合も、農業に従事されている正組合員より、農業に従事されていない准組合員のほうが多いそうです。そのため、准組合員の方々の意見をJAの運営に反映する「モニター制度」を導入。施設見学や収穫体験などのイベント、アンケートを通じて、意見や要望を集めています。



JA大阪中河内 本店 総務企画部 企画広報グループ 中澤義樹さん。広報誌『はぐくみ』の制作では、自らカメラを持って現場取材。

このモニター制度をきっかけに始まったのが、移動販売車での農産物販売です。複数のモニターさんから上がった「支店でも農産物を販売してほしい」というご要望に応え、今年の5月からスタートしました。朝採れの新鮮な野菜をトラックに積み、エリア内の20支店(八尾市内は8支店)の駐車場で販売を行っています。これがとても好評で、「次の開催はいつどこでありますか?」というお問い合わせをたくさんいただきます」と中澤さん。

また、野菜を買いに支店に来られた方が、農家でなくても農協を利用できることを知って、貯金や年金受給を利用してくださるケースもあったそうです。野田さんは「移動販売をきっかけに新しいお客さまも足を運んでくださって、農協が共済(保険)やローンを扱っていることを知っていただくいい機会になりました」と成果を実感されています。

都市近郊の強みを生かし、新たな担い手を一から育てる「農業塾」を開講。

農業をとりまく情勢は日々変化する中で、JA大阪中河内では、未来に向けた取り組みを始めています。そのひとつが、2019年8月に始まった「農業塾」です。農地を守るために重要なのは、農業者を増やすこと。受講生は一年にわたり、土づくりの基礎から肥料・農業の使い方など、農業にかかるさまざまなことを座学と実習で学びます。修了後はマッチング制度を利用して農地を借り、作った野菜は直売所「畑のつづき」で販売することも可能です。修了して終わりではなく、「こまめに連絡をして、葉っぱの様子がおかしいとか、虫がついたとかのお話があれば、営農指導員がすぐ畑までうかがいます」とフォロー体制も万全。学ぶ・作る・売るというサイクルを、一貫してサポートしているのが特徴です。

受講生は、農業経験のない新規の方から、定年後に実家の農業を継ぐ方などさまざま。現役の生産者の方が、新しい技術や知識を身に付けたいと受講されるケースもあるそうです。

都市型農業の八尾は地方に移住して農業を始めるよりハードルが低く、また消費地が近いことから輸送コストを抑えることも可能です。このことから野田さんは、SDGsに貢献できることも八尾の農業のメリットのひとつに挙げられます。「輸送に費用や時間をかけず新鮮な野菜を出荷でき、地産地消にもつながります」。都市近郊という強みを生かし、生産者を増やす取り組みを続けること。それが八尾の農業を守り、地域の活力につながっていきます。



JA大阪中河内 営農経済部 部長 野田哲男さん。2級ファイナンシャル・プランニング技能士として、資金計画などもサポート。



4812㎡の広さがある営農総合センター。敷地内には、農業・肥料などを販売する購買所や土壌検査室、米の播種、育苗から乾燥、もみすりまでを行う農作業棟、約105トンの米を低温で収容可能な精米倉庫などを備えています。



畑で実習を行う「農業塾」の様子。一年を通じて秋冬と春夏、両方の野菜をひととおり体験します。



7月に実施した「八尾えだまめ収穫体験」は八尾市観光協会を通じて募集を行い、5組20名が参加。

地域に深く根を下ろし、地域と共に成長と発展を遂げていく。

JA大阪中河内では、お子さまのいるご家庭を対象にした「アンパンマン子どもくらぶ」、夏休み親子クッキングスクール、小学生対象の田植えや稲刈り体験など、多彩なイベントやサークル活動も開催されています。これらの取り組みについて、野田さんは「JAのファンになっていただくため」とおっしゃいます。「私たちが目指すのは、地域の皆さまに必要とされること。さまざまなイベントは、地域のお役に立つために、これから時代の主役となる方々にJAを知っていただくきっかけ作りです」。

長年八尾市を担当し、市内の農家さんは皆さんに知り合いが多いという中澤さんも「長くお付き合いをして、何かの時だけでなく、普段から困ったことがあれば気軽にご相談いただけるのが理想。地域の方々の安心な暮らしをお手伝いするのが仕事だと思っています」と、生活全般を支える想いを語られます。

「JAがあって良かったと言っていたことが、何よりうれしい」とおっしゃるお2人の言葉からは、地域の方々の暮らしを支えたい、守りたいという強い想いが伝わってきました。地域に深く根を下ろすJA大阪中河内の取り組みが、これからの地域社会の発展・成長につながっていくことが大いに期待されます。



公式HPはこちら▼



大阪中河内農業協同組合 営農総合センター

〒581-0865 八尾市服部川1-34-1 ☎072-943-2834

本店

〒581-0019 八尾市南小阪合町2-2-2 ☎072-996-1717



農作物移動販売車スケジュール

2022年10月～2023年2月 10:00～12:00
(売り切れ次第、終了させていただきます)

萱振支店(八尾市萱振町3-75) 北高安支店(八尾市大竹3-76)
□10月4日(火) □10月12日(水)
□12月6日(火) □12月14日(水)
□2月7日(火) □2月8日(水)

山本支店(八尾市山本町2-5-2) 曙川支店(八尾市八尾木2-87)
□10月5日(水) □10月14日(金)
□12月7日(水) □12月9日(金)
□2月1日(水) □2月10日(金)

南高安支店(八尾市恩智中町2-1) 大正支店(八尾市太田3-55)
□10月7日(金) □10月18日(火)
□12月2日(金) □12月20日(火)
□2月3日(金) □2月21日(火)

高安支店(八尾市服部川6-268) 志紀支店(八尾市田井中2-1)
□10月11日(火) □10月19日(水)
□12月13日(火) □12月21日(水)
□2月14日(火) □2月15日(水)



JA大阪中河内ライン公式アカウント

お得な情報や旬な情報がいち早く届きます!
●お米、若ごぼう、枝豆、ぶどう、難波葱など、地域特産品等の入荷情報
●トラック市や即売会などのイベント情報
●各種金利、定期等のキャンペーン情報
などなど、お得な情報盛りだくさん!

友だち大募集!

JA大阪中河内
オリジナル
キャラクター



あぐりん

みのりん

友だち登録はこちらから▼



バスにのってこ! キャンペーン

連動



インスタ投稿プレゼント企画

「#バスいく八尾藤井寺」

応募期間:2022年10月1日(土)~11月30日(水)

重要文化財「水鳥形埴輪」を
モデルにした、ふわふわタオル!



八尾市・藤井寺市おでかけ応援事業「バスにのってこ!キャンペーン」と連動し、藤井寺市限定「みずどりはにわたおる」が当たるプレゼント企画を実施! バスに乗って、「#バスいく八尾藤井寺」をつけてInstagramに投稿してください!

応募方法

STEP①

乗車されたバスと、八尾市または藤井寺市で訪れた場所を撮影(何点でも可)

STEP②

ご自身のInstagramにてアカウントを「公開」にし、「#バスいく八尾藤井寺」をつけて写真を投稿

STEP③

応募期間終了後、当選者の方には八尾市観光協会のアカウントよりダイレクトメッセージにてお知らせ

「#バスいく八尾藤井寺」プレゼント企画の詳細は、こちらをご確認ください。



八尾市
観光協会
Webサイト

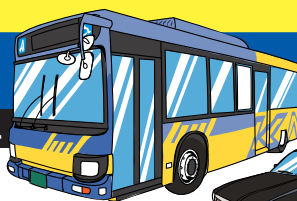


藤井寺市
観光協会
Webサイト

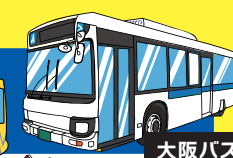
バスにのってこ! キャンペーンって?

2023年2月28日までの期間中、八尾市内・藤井寺市内を走る路線バスの利用運賃が1回の乗車につき、大人100円・小人50円になるお得なキャンペーン。対象路線などの詳細は、八尾市公式ホームページでご確認ください。

近鉄バス



大阪バス



たこち号



◀ 詳細はこちら

注意事項:本プレゼント企画は、Instagramが後援・支持、または運営しているものではありません。八尾市・藤井寺市おでかけ応援事業「バスにのってこ!キャンペーン」を活用した観光促進策です。

主催:八尾市観光協会 藤井寺市観光協会

お問合せ:八尾市観光協会 TEL 072-997-6226 (10:00~18:00) ※火曜定休

